

『汐製菓会社の新作のサ ブレ』

シーン：オフィスの朝

静かなオフィス。社員たちがそれぞれのデスクで作業中。電話のコール音やキーボードの打鍵音が響く。塩田が書類を抱えてコーヒーを飲みながら歩く。

塩田（独り言）

「今日こそ平穩無事に終わってほしい…。社長がまた何か思いつかなければ…。」

突然、オフィスのドアが勢いよく開く音。社員全員がひくひくとする。カランカランとした身を包んだ汐が登場。

汐（大声で）

「おはよう、諸君！準備はできているか？」

社員 A (呆れた顔で)

「また社長の朝の挨拶が…。」

社員 B (ぼそっと)

「今日は何を言い出すんだらうな。」

塩田 (慌てて近づき)

「社長、おはようございます。ですが、今日は
10時から取引先との大事な会議があります
よっ。」

汐 (笑顔で手を振りながら)

「そんなもの後回しだ！今日はもっと重要な
ことがある！」

塩田 (困惑しながら)

「もっと重要…？」

汐

「そう、新作のアイデアが降りてきたのだ！さ
あ、全員、会議室に集合だ！」

社員たちがため息をつきつ、塩田に促されて
会議室へ向かう。

シーン2：会議室での発表

会議室。社員たちが座り、ホワイトボードの
前に立つ汐を見つめる。

汐（勢いよくマーカーでホワイトボードに「新
作95」と書く）

「諸君、聞いて驚け。今回の新作は…『洋梨・
メロン味サブレ』だ！」

会議室が一瞬静まり返る。社員たちが顔を
見合わせる。

社員 A

「洋梨と…メロン？」

社員〇

「その組み合わせ、お菓子では聞いたことがありませんね。」

塩田（慎重に）

「社長、それが本当に売れるとお考えで？」

汐（自信満々に）

「当然だ！この二つのフルーツの甘みと爽やかさが、今までのサブレにはなかった新しい魅力を生み出すのだ！」

社員〇（手を挙げて）

「でも、洋梨もメロンも個性的な味ですし、フランスを取るのが難しそうですね。」

汐（ホワイトボードに「可能性」と大きく書く）

「そこが面白いところだ！常識に囚われず、新しい挑戦をすることが我々汐製菓の使命だ！」

塩田（苦笑いしながら）

「そう言って、前回の『ワサビ味クッキー』はあまり評判が…。」

汐

「あれは時代が追いついていなかったただけ！
今回は違うぞ、絶対に成功する！」

社員たちは困惑しつつも、汐の熱意に押され
ていく。

シーン3：試作室での試行錯誤

汐製菓の試作室。社員たちが白衣を着てサ
ンドの試作に励んでいる。オーブンの音やミキ
サーの音が響く中、フルーツを扱う手元が映
る。

社員の（オーブンを覗きながら）

「温度は180度で焼き時間は12分。この配
合で大丈夫でしょうか？」

社員D（生地を混ぜながら）

「でも、洋梨がメロンよりも主張しすぎてる気がするんですね。」

塩田（試食用のサブレを持ち上げて）

「一度試してみましよう。この試作品でどうか…。」

社員たちが試作品を試食する。最初に汐が大きな一口を食べる。

汐（目を閉じて味わい、ゆっくりと）

「うむ…。これは…！」

全員が期待の眼差しを向ける。

汐（顔をしかめて）

「少し苦いな。」

社員A

「洋梨とメロンなの？？」

塩田（試食しながら）

「たしかに…思ったよりも苦味が出てますね。
これは配合を変えるべきかも。」

社員D

「次はメロンを少し減らしてみましようか。あ
と、焼き加減も調整した方が良さそうです。
す。」

シーン4：国内市場テスト

新宿駅前で試食イベント。ブースにはサブリ
が山積みされ、社員たちが通行人に呼びかけ
る。

汐（マイクを握り、勢いよく）

「さあさあ、新作サブレはいかがですか！『洋
梨とメロンの絶妙なハーモニー』をぜひご堪能
くださいー！」

通行人がフースに興味を示して立ち寄る。若者たちが家族連れが試食を手取る。

若者 A

「なにこれ、洋梨とメロンってどんな味だろう？」

若者 B（一口食べて）

「あ、結構美味しいかも。最初は変だと思ったけど、クセになる感じ！」

主婦 O

「これ、紅茶と一緒に食べるといいかも。ちょっと持ち帰りたいわね。」

塩田（喜びつつも冷静に）

「思った以上に反応は悪くないですね。これならいけるかもしれません。」

汐（満足そうに）

「ほら見ろ、塩田！私の直感に間違いはなかっただろう！」

塩田（微笑みながら）

「この調子で海外にも展開できるといいですね。」

汐

「そのために次の舞台はフランスだ！」

シーン5：フランス菓子フェスティバルの到着

場所：フランス・リヨンの大規模な菓子フェスティバル会場

汐製菓のブース準備が進む中、周囲の他ブースは華やかで洗練された装飾が施され、観客も多く集まっている。汐と塩田がブースの看板を見上げる。

看板：「Sablé 5 - Poire & Melon」

塩田（少し緊張した様子で）

「社長、本当に大丈夫なんですか。周りはプロフェッショナルばかりですよ。」

汐（全く動じず）

「大丈夫だ。むしろこの緊張感こそが我々のチャンスを実際立たせるんだ。」

塩田（小声で）

「確かに目立ちはしますけど…。いい意味で目立つといいんですけどね。」

シーンの：試食開始と最初の反応

場所：汐製菓のブース

観客たちが次々に試食品のサンプルを手に取り、場面がスローモーショントで展開し、洋梨とメロンの色合い、サンプルの表面の焦げ目、細かな粉の質感が映し出される。

フランス人女性 ♫

「洋梨とメロン？変わった組み合わせね。」

フランス人男性 田（一口食べて眉をひそめ）

「甘いのか爽やかなのか、よくわからない。」

フランス人少年 〇（母親に小声で）

「ママン、ちよつと変な味…。」

観客のざわつきが広がり、塩田が焦る。カメラが焦る塩田を映し、肩をすくめるシーンが映る。

塩田（小声で汐に）

「社長、もう無理です。撤収しましょう…。」

汐（拳を握りしめて、カメラが彼女を正面から映し出す）

「いや、ここで引くわけにはいかん。」

シーン①：審査員の登場と試食

場所…汐製菓のブース

フランスの名高い審査員の人々がブースに近づく。会場全体が少し静まり返る。観客が彼らに注目する。カメラが少し低い位置から審査員たちを捉え、威厳を感じさせる。

フランス審査員 Y（一口食べてすぐに眉をひそめる）

「ムム……。これは奇妙だ。」

フランス審査員 B

「素材は良いが、フランスのサブレ文化には程遠い。」

フランス審査員 C（冷たく）

「まるで子供が遊びで作ったような味だな。」

観客たちもみなわめき、失望の聲が広がる。塩

田は完全に固まる。カメラが塩田の表情をクローゼアップする。

塩田（小声で）

「社長、もう無理です。撤回しましょう……。」

汐（自信満々に）

「これからが勝負だ。」

シーン⑧：汐、審査員と正面对決

場所：汐製菓のブース前

汐が堂々と審査員たちの前に立つ。会場が静まり返る。カメラは汐を正面から映し、その自信を強調する。彼女の背後に光が差し込むような演出で、彼女の存在感を引き立てる。

汐

「審査員の皆様、一つお尋ねします。お菓子とは、何のために存在すると思いますか？」

フランス審査員A（冷たく）

「もちろん、美食のためだ。洗練された味わいを提供するためだ。」

汐（笑みを浮かべながら）

「それだけでしょうか？ お菓子は、人々に驚きや楽しさを提供するものでもあるはずです。」

フランス審査員 田

「だが、そのために伝統を捨てるわけにはいかない。」

汐

「伝統を守ることは重要です。しかし、新しい味を追求し、未知の可能性を探ることも同じくらい大切ではありませんか？」

カメラが審査員たちの表情を映し、彼らの冷たさが少しずつ和らいでいく様子を捉える。観客も少しずつ静かになり、集中して聞き入る。

汐

「この『洋梨・メロン味サブレ』は、ただの奇抜な試みではない。異なる文化や味覚を融合させ、新たな価値を生み出す挑戦なのです！」

フランス審査員〇(再び試食し、ゆっくりと
なずく)

「たしかに…。最初の印象は奇妙だが、もう
一度味わうと調和が見えてくる。」

フランス審査員㍶

「この大胆さは、我々フランス人が忘れかけて
いた革新の精神を思い出させる。」

フランス審査員㍷

「ふむ。たしかに新しい可能性がここにある。」

観客から少しずつ拍手が湧き起る。カメラ
が観客の反応を広角で捉え、盛り上がりを感じ
させる。

シーン6：最終決断と受賞

場所…フェスティバルのステージ

コンフェスティバルの最終結果発表が行われる。司会者が結果を読み上げる。音楽が少し静かになり、緊張感を高める。

司会者

「今年の最優秀革新菓子賞は…日本から参加の汐製菓『洋梨・メロン味サブレ』です！」

会場全体が大きな拍手に包まれる。カメラが汐と塩田がステージに上がる様子を、少し後ろから映して、二人の成長と達成感を感じさせる。

塩田（感極まって涙ぐみながら）

「社長、やっぱり諦めなくてよかったですね。」

汐（満面の笑みで）

「これが我々のサブレ革命だ！」

シーン10：帰国後の祝賀会

場所…汐製菓のオフィス

オフィスに戻り、社員たちとともに祝賀会が開かれる。試作を重ねたサツシがテーブルに並び、笑顔があふれる。音楽が軽快に流れ、喜びを演出する。

社員 A

「社長、本当にすごいです。次はどんな味を作るんですか？」

汐（意味深な笑みを浮かべて）

「次は…トマト味のガトーショコラだ！」

塩田（ずっとこけながら）

「またですか!？」

全員の笑い声が響く中、画面がフェードアウト。
7。

エンドロール

社内の賑やかな様子と海外の販促映像
が交互に流れ、音楽が盛り上がりを見
せる。